

## Suica電子マネー用スマートフォン決済端末の 検討・仕様策定に向けた試行を開始します

- ◇ JR東日本では、スマートフォン端末を用いた交通系電子マネー決済端末の検討を行っています。
- ◇ 本試行を通じて、スマートフォン決済端末の仕様策定に向けた検証を行っていきます。

東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：富田哲郎／以下、JR 東日本）は、スマートフォン端末を JR 東日本が発行する電子マネー「Suica」の決済端末として利用するため、その仕様策定に向けた検証を目的として、店舗での試行を開始いたします。

### 1. スマートフォン決済の仕組み

スマートフォン端末搭載の NFC リーダ/ライタモード(\*1)を使用して、Suica から代金の引き去りを行います。

本試行における決済処理では、株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス（代表取締役：大高敦／以下、TMN）の協力の下、携帯電話回線を通じてセンタ側で決済処理を行うシンククライアント方式を採用し、高いセキュリティを確保しました。



図1 全体構成図

また、スマートフォン端末は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：十時裕樹）の協力の下、仕様策定の検討に向けて FeliCa™ リーダライタ RF 性能検定(\*2)に合格した初めてのスマートフォン端末である Xperia™ Z5 Compact(\*3)を使用します。

### 2. 試行の概要

スマートフォン端末を店舗での Suica 決済に使用することで、スマートフォン決済端末の仕様策定に向けて、多角的な視点から検証していきます。

現在予定している試行場所は以下の通りです。

①移動販売車における飲食物販売でのお支払い

運営：ジェイアール東日本フードビジネス株式会社

場所：東京国際フォーラム地上広場（東京都千代田区）

端末台数：2台

時期：2016年10月7日～10月9日（予定）

時間：東京味わいフェスタ 2016 有楽町エリアの開催時間による

②鉄道博物館における体験コーナーでのお支払い

運営：公益財団法人東日本鉄道文化財団

場所：鉄道博物館（埼玉県さいたま市大宮区）

端末台数：3台

時期：2016年10月24日～12月28日（予定）

時間：鉄道博物館開館時間による

今後、順次試行の箇所を増やすことも検討しています。

(\*1) 13.56 MHz の周波数を利用する近距離無線通信技術である NFC（Near Field Communication の略称）を利用して、非接触 IC カードへの読み書きを行う機能です。

(\*2) FeliCa リーダライタ RF 性能検定とは、FeliCa に対応するリーダライタの通信性能が要求される基準値を満たしていることを確認する検定です。

(\*3) ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が開発し、株式会社 NTT ドコモより販売されているスマートフォン端末です。

※Xperia は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。

※FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

※FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。